

「K-L I B R A」による新たな蓄電池向け運用支援サービスの開始について ～当社の特許技術「収益・寿命2倍化技術」の活用～

2025年9月10日
関西電力送配電株式会社

当社は、蓄電池を一括制御するための監視制御システム「K-L I B R A」のSaaS^{※1}事業を、アグリゲーター事業者向けに開始しました。

([2024年3月25日お知らせ済み](#))

当社は、「K-L I B R A」に実装している蓄電池の運用支援機能である「収益・寿命2倍化技術」の特許を取得しています。この度、この機能に特化した系統用蓄電池の運用事業者向け運用支援サービス（以下、本サービス）の提供を、2025年9月17日より開始します。

「収益・寿命2倍化技術」は、蓄電池に充電している電力量の最適なマネジメントを行い、需給調整市場において蓄電池を24時間365日、定格出力にて連続運用することが可能^{※2}となる技術です。

電力の安定供給と再生可能エネルギーのさらなる導入拡大を同時に達成していくためには、需給調整力^{※3}の確保が課題のひとつとなっており、蓄電池を用いた需給調整力の供出が解決策として期待されています。

本サービスを系統用蓄電池の運用事業者にご利用いただくことで、蓄電池からの需給調整力を最大限確保でき、課題解決に寄与できると考えています。

また、系統用蓄電池の運用事業者にとっては、需給調整市場に対して、需給調整力を最大限供出することになるため、収益の向上が期待できます。

当社は、本サービスの提供を通して、電力の安定供給および再生可能エネルギーのさらなる導入拡大によるゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

- ※1 Software as a Service の略。「サービスとしてのソフトウェア」を意味する言葉。サービス提供事業者（関西電力送配電）が提供するソフトウェア（K-L I B R A）を、インターネットなどのネットワークを経由して、ユーザー（お客さま）が利用できるサービス。
- ※2 定格出力にて連続運用するためには、蓄電池の出力(kW)に対して必要となる容量(kWh)の条件がある。
- ※3 一般送配電事業者が電力系統内の周波数(電気の品質)を一定に保つために使用する電力。

以上

「K-L I B R A」によるSaaS事業のご紹介サイトは[こちら](#)

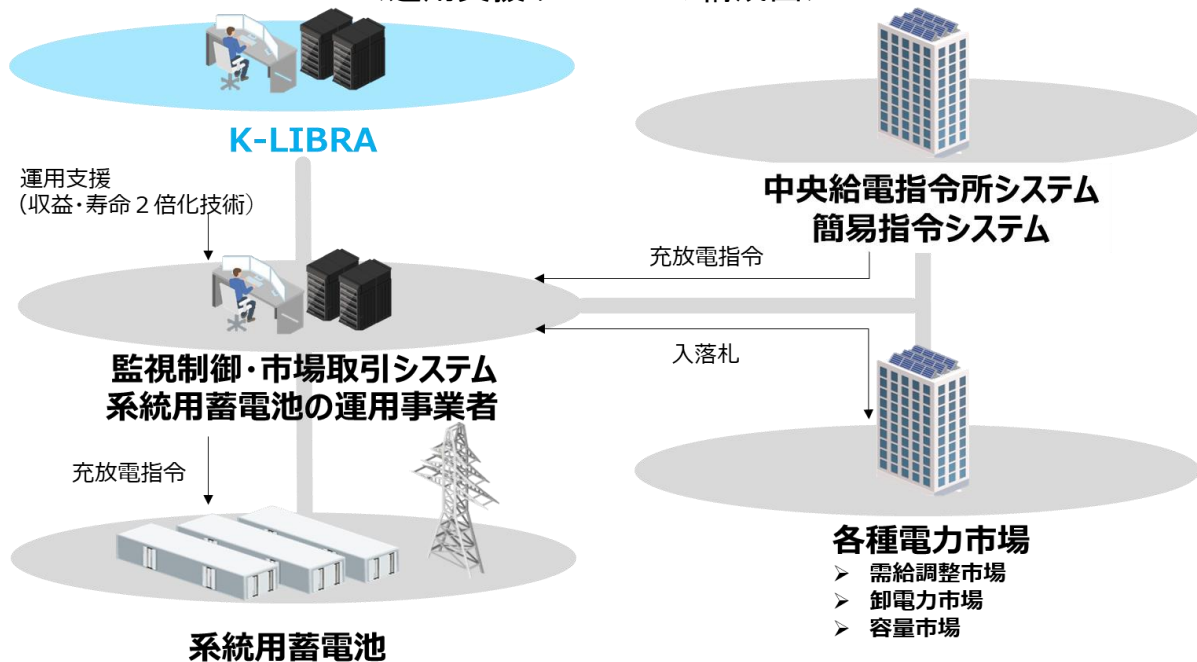
別紙：運用支援サービスの概要と特徴

運用支援サービスの概要と特徴

<概 要>

当社が特許を有する「収益・寿命2倍化技術」に特化した運用支援システム「K-LIBRA」を、系統用蓄電池の運用事業者向けサービスとしてSaaS提供します。系統用蓄電池の運用事業者の監視制御システムもしくは市場取引システムと自動連携し、蓄電池からの需給調整力を最大限確保するために必要な情報の送受を行うことができ、これにより、需給調整市場の全てのメニューで、24時間365日、定格による連続運用が可能となります。

<運用支援サービスの構成図>



<特 徴>

- ・「収益・寿命2倍化技術」は、蓄電池に充電している電力量のマネジメントを行うことで、充電と需給調整市場に対する調整力の供出を同時かつ最適に実施できる技術です。
- ・当社が電力系統運用で培った各種電力市場への知見を活かし、市場で求められる複雑な要求に対応したシステムを提供します。なお、本事業において、一般送配電事業者のみが保有する託送関連情報等の非公開情報は取り扱っておりません。

以 上